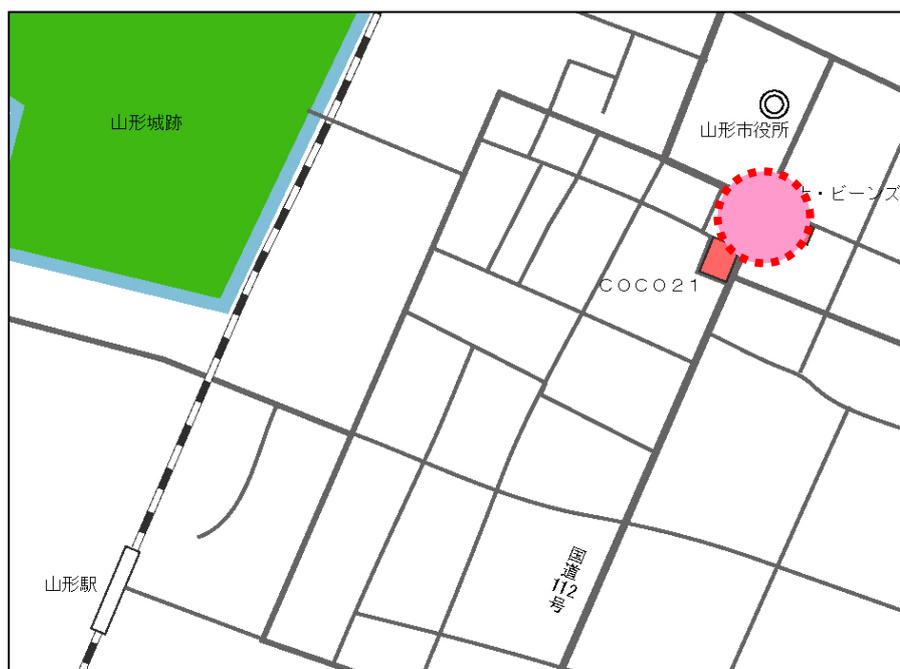


山形市では中心市街地を挟むようにショッピングセンターが位置していることもあり、中心商店街の低迷が続いていた。そのため、店舗が撤退して空地となったところや空き店舗になったところがいくつかある。山形市では地権者や民間企業と連携して、この空地や空き店舗に民間商業施設と公共施設を導入し、複合的な活用を図った。



店舗撤退による空き地の活用

店舗撤退による空き地を市が買い取り、公共広場として活用していた。その周辺の老朽化した店舗の区域の地権者により区画整理が一体的に行われ、商業施設（E-NAS）が建てられた。この建物は「コの字」になっていて、広場がそのまま活かされた配置になっている。休日はイベントやフリーマーケットなどで活用されている。



E-NAS（イイナス）の外観



E-NAS（イイナス）の広場

今後、人が訪れたいくなる、楽しめる広場の利用の仕方を考えていく必要があるのでは。

百貨店閉店後の建物活用

デパートが撤退したビルに公共施設とテナントが入り、平成 14 年 6 月に再オープンを果たした建物（NANA BEANS）である。この建物は 8 階建てで、5 階から 8 階までが県と市の施設が入っている。

今後、民間ビルであったところにどれだけ公共施設が入っていくべきかを考える必要があるのでは。



NANA BEANS（ナナ・ビーンズ）